地域の人生を、
中学生の未来へ繋げる。

宮城大学　ゆきな
伊藤和花
遠藤佑真
渡邉向夏

私たちは**地域の非営利団体**として

地域キャリア編集部を立ち上げて

石巻圏域の中学生へ自分らしいキャリア

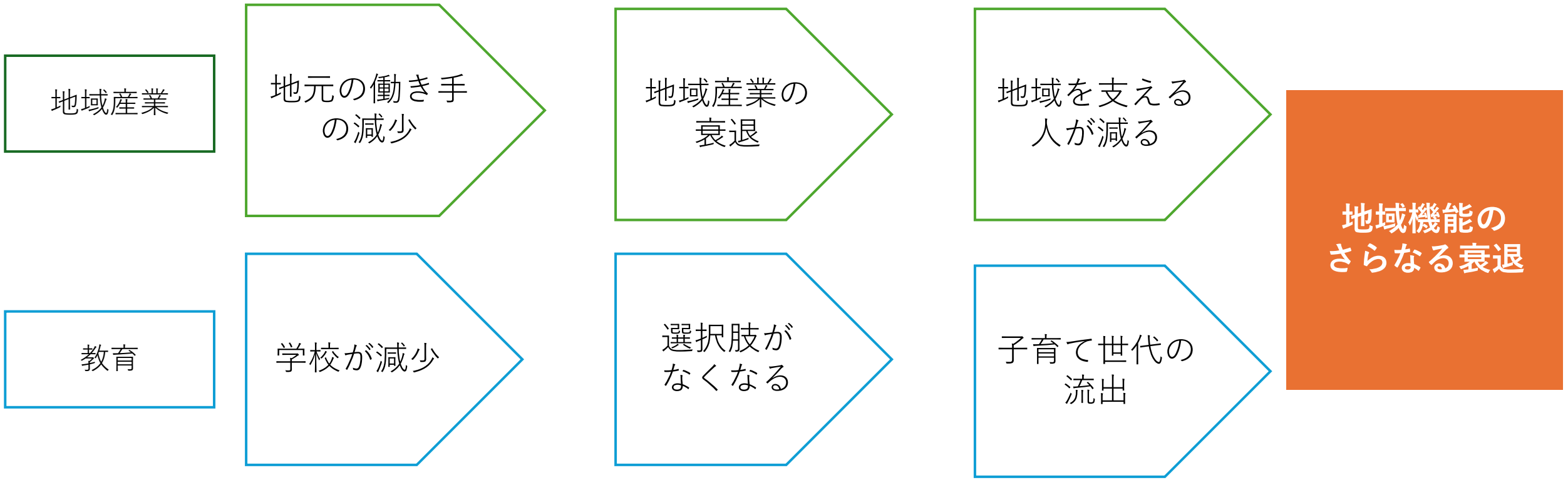
選択ができる環境を希望します。

私たちは**地域の非営利団体**として、
地域キャリア編集部を立ち上げたいので、
石巻圏域へ中学生が自分らしいキャリア選択ができる環境を作ることを希望します。

解決したい課題

中学生が**価値観に**とらわれず、
自分らしいキャリアを選択できない

課題と人口減少が進むと・・・



課題根拠データ｜石巻圏域アイデアソン

なぜ、今。
なぜ、中学生なのか。

人口減少の危機 × 「地元が好き」と「ここで生きる」のギャップ

小学生から中学生へ。「なりたい職業」の顔ぶれが変わる。

小学生男子｜TOP5

1	野球選手	9.1%
1	YouTuber等	9.1%
3	サッカー選手	7.7%
4	警察官・刑事	7.1%
5	ゲームクリエイター	4.2%

中学生男子｜TOP5

1	エンジニア・プログラマー	7.8%
2	公務員	7.3%
3	会社員	7.1%
4	野球選手	6.4%
5	サッカー選手	5.3%

出典：Adecco Group「将来就きたい職業」調査（2026）｜小学生男子 n=900、中学生男子 n=450

小学生女子｜TOP5

1	パティシエ	17.7%
2	先生	7.7%
3	医者	5.3%
4	看護師	4.1%
5	YouTuber等	3.2%

中学生女子｜TOP6

1	パティシエ	6.9%
1	看護師	6.9%
1	先生	6.9%
4	会社員	5.3%
5	医者	4.9%
6	公務員	4.7%

“将来”が現実になる中学生期に職業観が動くことが見える。

出典：Adecco Group「将来就きたい職業」調査（2026）｜小学生女子 n=900、中学生女子 n=450

今の中学生が大人になる頃、石巻はどうなる？

130,284人

2025年9月末

石巻市の総人口

86,785人

2050年推計

約33%減（2025→2050）

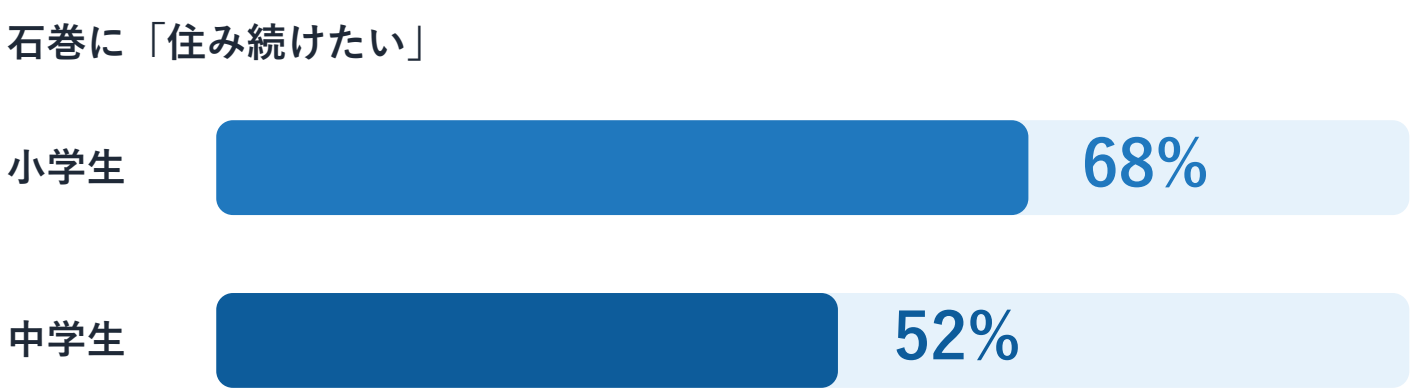
若い担い手が減っていく

地域の仕事・産業・暮らしを誰が支える？

人口が減るだけではない。
地域を支える「人」が減っていく。

出典：石巻市「石巻市人口戦略計画」（2026）／国立社会保障・人口問題研究所推計

「好き」は続く。でも「住み続けたい」は下がる。



一方で…

「石巻が好き」
小中学生 9割超

進路を考え始める中学生の時期に、
「地元が好き」から「ここで生きる」へつなぐ何かが必要では？

出典：石巻市 小学5年生・中学2年生対象調査（2025）／河北新報報道をもとに整理

「石巻に住みたい」はある。でも、地元就職にはつながっていない。

52.9%

石巻市で**居住したい**

市内の高校生・大学生 578人

15%

高卒の地元就職

令和3年度卒業生 193人

6%

大卒の地元就職

令和3年度卒業生 18人

出典：石巻市「石巻市の人材供給状況等」（更新：2025年3月24日）

だから、私たちが変えたいのは「地元就職率」だけじゃない。

まだ知らない、で未来の選択肢を消してほしくない。

地域が好き

9割超

でも

住み続けたい

68%→52%

さらに

居住意向 **52.9%**

地元就職 **15% / 6%**

問い

「ここで生きる」を
具体的に想像できている？

地域の「仕事」ではなく、地域で生きる「人の人生」を届ける。

課題仮説：石巻市の各種調査＋チーム3名の原体験をもとに設定

「将来何になる？」の前に、「どう生きたい？」を考える。

小学生 → 中学生で、職業観にも変化

小学生　→　中学生

進路が現実味を帯びる時期。
全国調査でも、小学生・中学生で
「なりたい職業」の順位は変化する。

※「安定志向になった」とまではデータだけでは断定しない

私たち自身の原体験からの問い

「安定した進路」を選ぶうちに
自分はどう生きたいのかを
しまい込んでいないか？

多様な“大人の人生”を知ることで、
自分らしい**道を考える材料**を増やす。

参考：Adecco Group「全国の小中学生2,700人を対象にした『将来就きたい職業』調査」（2026）

実現したい未来

先入観やイメージで判断せず
多様な生き方を知り選択肢が広がる未来

具体的な目標

・「石巻に住み続けたい」

小学生：６８％→**８割**
中学生：５２％→**７～８割**

・**「なりたい職業」で多様な職業がランクイン**

提案する内容

地域キャリア編集部

01 | 仕組み

中学生は「受け手」ではなく、編集部の一員。

地域企業

中学生との接点
教育・探究の知見



↔

キャリア編集部
（私たち大学生）

地域企業 × 中学生 × キャリア編集部

取材・動画制作で、地域の大人のリアルを届ける



↔

中学生

仕事ではなく
「人生」を語る



↓

中学生に届けることで、
より**自分らしいキャリア選択**ができる



中学生が「視聴者」から「編集者」へ。



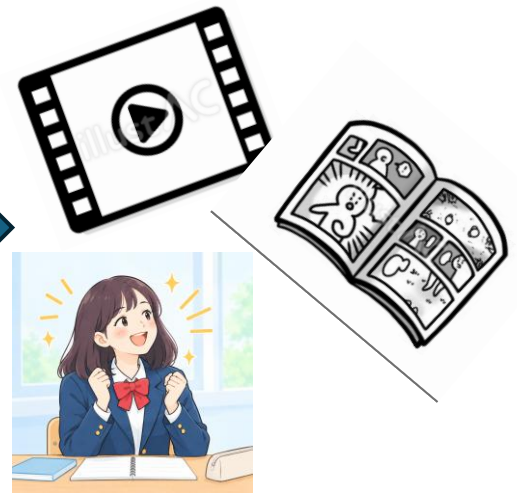
自分を知る



自分と合う
大人を取材



取材したこと
を自分なりに
編集



同世代へ
届ける


大企業を辞めずに、
水産業をガラリと変えて
しまった男

まず、女川を知る。

最初の連携候補

一般社団法人まちとこ／女川向学館

中学生との継続的接点
教育プログラムの知見
大学生が関わる土台

参加する

既存活動のサポーターへ

知る

中学生の雰囲気・価値観を知る

学ぶ

中学生向け企画の手法を学ぶ

つながる

団体・地域との関係をつくる

外部から入るからこそ、最初に「地域を知る時間」をつくる。

連携は現時点の候補。まず活動参加・ヒアリングを相談し、関係性を築く想定。

関係をつくったあと、小さく「地域キャリア編集部」を試す。

中学生 5〜10人　×　地域の大人 2〜3人　×　大学生 3人

知る	見る	会う	つくる	届ける
自分の「好き」	1分の人生動画	会いたい大人を選ぶ	取材・編集 媒体も選ぶ	同世代へ発信

「中学生向け」から、「中学生とつくる」へ。
同世代に届く表現は、中学生自身から学ぶ。

地域ごとの強みから学び、その地域版の編集部をつくる。

女川町

まちとこ／女川向学館

中学生との関係づくり

継続的な中学生との接点
教育プログラム・大学生受入

石巻市

認定NPO法人こども∞感ぱにー/一般社団法人まちと人と　etc

石巻教育委員会

ミライブラリ
フリースクールぱはっく

東松島市

NPO法人いろどり・みんなのみち

子ども主体の企画・発信

「こども実行委員」
子どもの社会参画を実践

女川で学ぶ・試す → 石巻・東松島でも、既存の地域資源と一緒につくる

候補根拠：各団体が公開する活動内容をもとに整理。実際の連携可否は今後相談。

1年目は女川。2年目から石巻・東松島へ。

1年目｜女川で「学ぶ・つくる・試す」

1〜3か月	参加・関係づくり
4〜6か月	動画試作・共創
7〜9か月	小規模実証
10〜12か月	検証・改善

2年目｜石巻・東松島へ展開

石巻｜まちと人と

キャリア教育・地域人材との接続

東松島｜いろどり・みんなのみち

子ども主体の企画・発信から学ぶ

地域に入り、信頼と実証を積み重ねる。

行政連携

4つの“接続”

学校

教育委員会

学校・キャリア教育
探究活動への接続

場所

**市民センター
公共施設**

中学生が集まれる
地域の活動場所

データ

行政 × 学校

地域意識・進路意識の
調査／事前・事後比較

人

**地域企業
地域人材**

多様な「人生」を持つ
大人との接続

**私たちは地域に入り、小さく実証する。
学生だけでは届かない「学校・場所・データ・人」を行政につないでもらう。**

※石巻のような広い地域では、地域団体経由だけでなく教育委員会への直接相談も想定。

民間・専門連携〜展望編〜

さらに、“伝える技術”を地域のプロと一緒につくりたい。

ポプラ社〈候補〉

取材・文章・紙媒体
「編集する力」

→

地域キャリア編集部

大学生 ＋ 中学生

←

大学・研究者

調査設計・効果測定
プログラム評価

映像クリエイター

撮影・ショート動画
映像表現

↗

↖

商工団体・企業

多様な地域人材
人生の語り手

“企業紹介”ではなく、“人生をどう届けるか”を一緒に学ぶ。

ポプラ社は石巻市との包括連携実績・子ども向け編集体験の実績があり、将来の連携候補として想定。